

北海道偕行会「みたま祭」の集い

が立つ聖域「彰徳苑」がある（この名は三笠宮殿下のご発案によるという）。西南戦争、日露戦争、尼港事件、ノモンハン事件の外、大東亜戦争時の英霊（海軍・殉難看護婦を含む）を祀る碑が多い。これら慰霊碑の合同慰霊祭「みたま祭」が6月2日斎行された。北海道偕行会には有志を募って昇殿参拝、引き続き懇談・会食の席をもった。同じく参拝された18普連長・渡邊1佐にも急遽ご参加いただいた。自65吉田会員は宝生流能楽を奉納後に合流。初夏らしい青空のもと、16名が自己紹介・近況・持論など二人一話の、和やかで有意義な談話会になった。

陸士出身者が59期の野俱会員、61期の小森・松尾会員のお3方。野俱会員は、自衛隊勤務をふり返って最も尊敬する人は防大初代校長・榎先生」と。連隊長から



「受付風景」左から大須賀・松尾・細島

は部隊現況など実感こもるお話を伺えた。町内会防火防犯部長の自76中矢会員は「子供を狙う痴漢が出没しており、対策に尽力中」と。いわゆる内地出身者で、奥様の縁や子供達の意向で北海道定着を決心した、という人が複数、同感・納得の声あり。

皆さん、身近な事柄から諸情勢まで広く関心をもって頑張っており、また、出席者相互に何らかのつながりが感じられて、わが組織の好さを再認識できる談話会であった。出席者（氏名既出を除く）賛助・林、自60大須賀、66碓氷、73大野、75齋藤、76佐々木、86斗賀山、104北田、73細島（65木村記）。

なお、北海道護國神社（旭川）慰霊大祭（6月5日）には、自58若杉会員が会を代表して参拝した。

●北海道偕行会員にお知らせします。

「月寒忠霊塔慰霊祭」は、期日が9月29日（土）に変更になりました。参列ご希望の方の問合せは事務局へ。